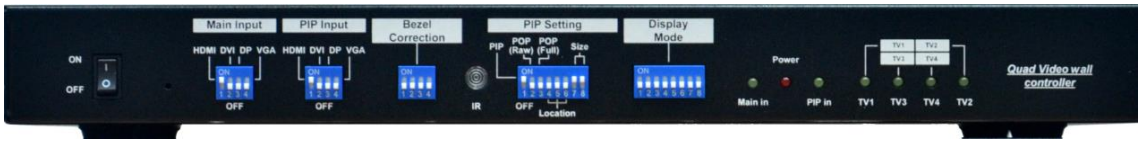
G-403 取扱説明書

VNS GeoBox シリーズ

プリセット マルチディスプレイコントローラー



V1.2

G-403 の主な特長

- PC やサイネージプレイヤーから出力された映像コンテンツを複数の HDMI 表示機器に分割出力可能
- HDMI、DVI-I、DisplayPort 入力端子搭載
  (DVI-I 入力端子は DVI-D、VGA 入力に対応します)
- 33 種類のプリセット表示レイアウトを内蔵
- マニュアルモードで任意の表示レイアウト制作が可能
- ループプレイバック機能を搭載
- 最大 4K/2K@30p 入力コンテンツに対応
- HDMI ループアウト端子を搭載し、容易に多段接続が可能
- 本機同士を多段接続することにより、9 面、16 面などの大画面システムを簡単構築
- オリジナル映像の左右の縦回転表示が可能（ローテート）
- オリジナル映像の左右、上下、左右上下の反転表示が可能
- PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）対応により２系統入力の映像を 1 画面に表示することができます。
- POP(ピクチャー・アウト・ピクチャー) 対応により２系統入力の映像を 1 画面に分割表示することができます。
- PC、ソフトウェア不要の簡単設定
  (微細なベゼル補正する場合、ソフトウェアで設定実行します)
- 最大５通りの入出力パターンを記憶し、それらパターンを呼出して表示が可能です。
- リモコン、ボタンスイッチ、RS-232C からの制御が可能です。
  (オプションでネットワーク経由でも制御可能です)
- HDMI コネクター部のロック機構に対応する専用 HDMI ケーブルを接続することで、抜け落ち防止を実現します。
- 電源コネクター部のロック機構により、AC アダプターの抜け落ちを防止します。

目次

1 ［同梱品］ 5
2 ［製品画像］ 6
2－1 フロントパネル 6
2－2 リアパネル 6
2－3 リモコン 7
3 使用上の注意事項 8
3－1 表示機器のアスペクト比について 8
3－2 EDID 設定について 8
3－3 OSD メニュー設定について 8
4 設定方法について 8
4－1 OSD メニュー 8
4－2 DIP スイッチ 8
4－3 RS-232C 8
5 ［Picture］カラープロパティの調整 9
6 ［Image Setup］アナログ RGB 入力信号の調整 9
6－1 ［Automatic］オート調整 9
6－2 ［Manual］クロックや位相ズレを調整 9
6－3 ［Horizontal Positon］水平位置を手動調整 9
6－4 ［Vertical Position］垂直位置を手動調整 9
7 ［Image Properties］イメージプロパティ設定 10
7－1 ［Color］色温度/RGB カラー設定 10
7－2 ［Input Signal］入力切替 10
7－3 ［Scaling］スケーリング 10
7－4 ［PIP/POP setting］ 11
7－5 ［Orientation］映像回転 12
8 ［Video Wall］ビデオウォール設定 13
8－1 ［Output Mode］アウトプットモード 13
8－2 ［Manual Mode］マニュアルモード 13
8－3 ［Zoom］ズーム/カスケード接続 18
8－4 ［Pan］表示エリアの指定 19
8－5 ［Overlap］オーバーラップ 20
9 ［Options］オプション設定 21
9－1 ［Information］ステータス確認 21

9－2 [Language] 言語選択 21
9－3 [Reset] リセット 21
9－4 [Accessibility] ボタン反応速度、メニューアウト設定 22
9－5 [Setting] プロファイル保存・呼出、RS-232C 設定 22
１０ [ディスプレイモード]プリセット表示レイアウト 24
１０－１ [映像分配出力] 24
１０－２ [2x2 表示レイアウト] 25
１０－３ [2x2 TV1&TV2 逆さま表示レイアウト] 25
１０－４ [4x1 表示レイアウト] 26
１０－５ [1x4 表示レイアウト] 26
１０－６ [3x1 表示レイアウト] 27
１０－７ [1x3 表示レイアウト] 27
１０－８ [2x2 時計回りに 15° 回転 表示レイアウト] 28
１０－９ [2x2 時計回りに 15° 回転、TV1&TV2 逆さま表示レイアウト] 28
１０－１０ [2x2 TV2&TV4 下移動 1/2 表示レイアウト] 29
１０－１１ [2x2 TV3&TV4 右移動 1/2 表示レイアウト] 29
１０－１２ [2x2 縦 2＆横 2 表示レイアウト] 30
１０－１３ [3x1 用 表示レイアウト] 30
１０－１４ [TV2＆TV4 下移動 1/4 表示レイアウト] 31
１０－１５ [TV4 下移動 1/4 表示レイアウト] 31
１０－１６ [反時計回りに 75° 回転 表示レイアウト] 32
１０－１７ [反時計回りに 48.37° 回転 表示レイアウト] 32
１０－１８ [時計回りに 45° 回転 表示レイアウト] 33
１０－１９ [ロの字型 表示レイアウト] 33
１０－２０ [風車型 表示レイアウト] 34
１１ [DIP スイッチ設定] 35
１１－１ [Main input] メイン入力 35
１１－２ [PIP input] PIP 入力 35
１１－３ [Bezel Correction] ベゼル補正 35
１１－４ [PIP Setting] PIP/POP 設定 36
１１－５ [Display Mode] 36
１２ [RS-232C 制御] 37
１２－１ ホストとの接続について 37
１２－２ コマンド配列について 37
１２－３ コマンド一覧 38
１３ [仕様] 45

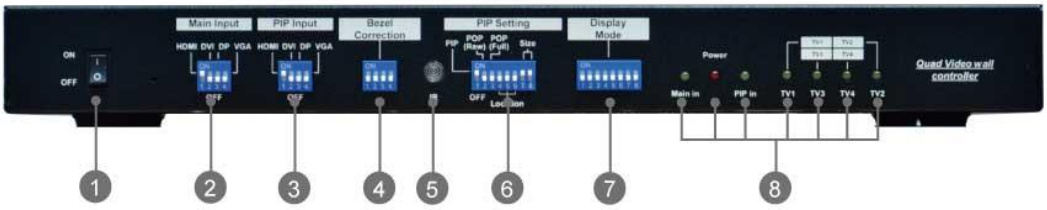
1 ［同梱品］

・G-403 本体	1 台
・電源コード	1 本
・ネジ式ロック機構 AC アダプター（DC12V、3A）	1 個
・リモコン	1 個
・単４電池	2 個
・IR 受信器	1 台
・IR ケーブル	1 本

※同梱の電源コードは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

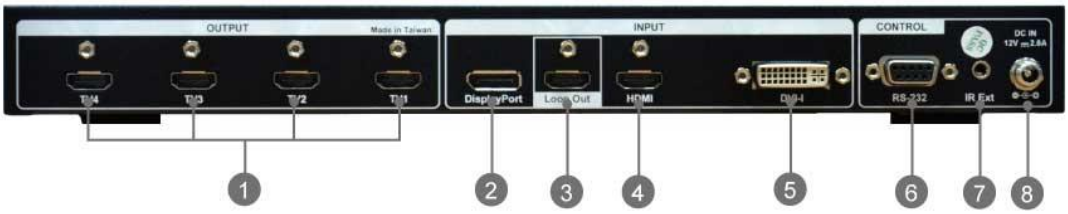
2 ［製品画像］

2－1 フロントパネル



① 電源 ON/OFF スイッチ	⑦ Display Mode
② メイン入力	⑧ 各種 LED
③ PIP(ピクチャーインピクチャー)入力	・Main in
④ ベゼル補正	・Power
⑤ IR 受光部	・PIP in
⑥ PIP/POP 設定	・TV1～TV4

2－2 リアパネル



① HDMI 出力端子(TV1～TV4)	⑤ DVI-I 入力端子
② DisplayPort 入力端子	（HDMI、DVI-D、VGA 入力対応）
③ HDMI ループアウト端子	⑥ RS-232C 端子
④ HDMI 入力端子	⑦ IR 端子
	⑧ 電源ジャック

2-3 リモコン

入力信号、出力解像度のスイッチがワンタッチで行えます。

「Menu」ボタンを押すことで OSD がポップアップし、各種設定が行えます。

「OTH」ボタンを押すと、ワンアクションで OSD[Profile]の index 画面を表示できます。

３ 使用上の注意事項

３－１ 表示機器のアスペクト比について

本機は、アスペクト比 16：9 の表示機器のみ対応しています。
16：9 以外の表示機器では、映像が画面内におさまらないなど正しく表示されません。

３－２ EDID 設定について

本機の各種設定を実行する前に必ず[EDID]（9-5-6 参照）を最初に設定してください。
EDID 設定を行わず接続するソース機器を起動した場合、ソース機器によっては正しく表示されないことがあります。

３－３ OSD メニュー設定について

リモコンを使って OSD メニューを画面表示して設定する場合、リリモコン操作を行える位置に本機を設置する必要があります。
本機に付属の延長用 IR 受光部と 3.5mm ステレオミニケーブル（2m）を併用することで 2m 程度 IR 受光部を延長することはできます。
2m を超える位置から OSD メニューで本機を設定したい場合、市販の 3.5mm ステレオミニケーブル（最長 20m）を使って IR 受光部を延長してください。

４ 設定方法について

本機では、OSD メニュー・DIP スイッチ・RS-232C から各種設定が行えます。

４－１ OSD メニュー

OSD メニューは、リモコンの Menu ボタンを押すと表示されます。
設定詳細については、次項 5～10 をご参照ください。

４－１－１ OSD ロック/ロック解除方法

IR リモコンの[MENU]ボタンを 5 秒間の長押しで、OSD をロックすることができます。
OSD ロックの状態で、IR リモコンの[MENU]ボタンを 5 秒間の長押しで OSD ロック解除することができます。

４－２ DIP スイッチ

設定詳細は、項目 11 の「DIP スイッチ設定」をご参照ください。

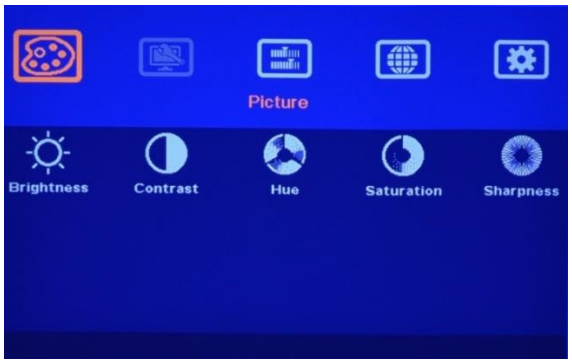
４－３ RS-232C

設定詳細は、項目 12 の「RS-232C 制御」をご参照ください。

本機は、DIP スイッチの設定値が最優先される仕様です。
OSD メニューまたは RS-232C の設定値を反映させたい場合は、DIP スイッチを全て OFF 側にセットしてください。
電源の入り切りで設定値が反映されます。

5 [Picture] カラープロパティの調整

表示機器全体のカラープロパティを調整できます。
但し、各々の表示機器の配色調整はできません。
YUV 入力時は、全てのメニュー設定が可能。YUV 入力時以外は、[Brightness]と[Contrast]のメニューのみ設定可能。



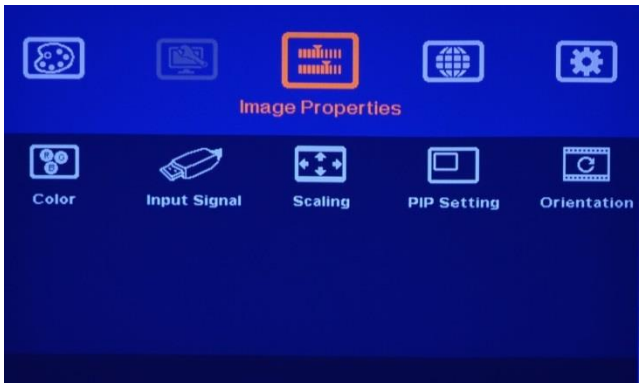
[Brightness]　明るさ
[Contrast]　コントラスト
[Hue]　色調
[Saturation]　彩度
[Sharpness]　シャープネス

6 [Image Setup] アナログ RGB 入力信号の調整

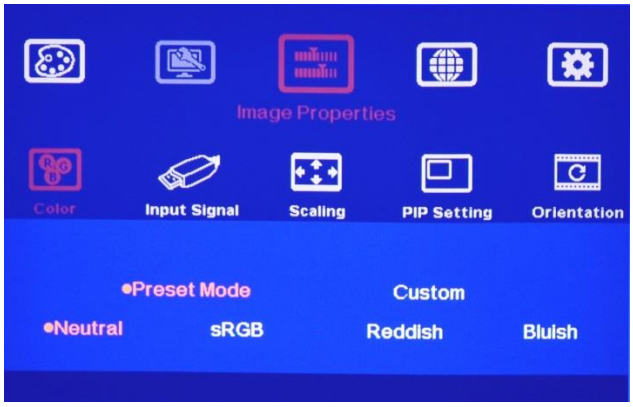
本機能は、アナログ RGB 信号入力時のみ有効です。

6－1 [Automatic] オート調整
6－2 [Manual] クロックや位相ズレを調整
6－3 [Horizontal Positon] 水平位置を手動調整
6－4 [Vertical Position] 垂直位置を手動調整

7 [Image Properties] イメージプロパティ設定



7-1 [Color] 色温度/RGB カラー設定

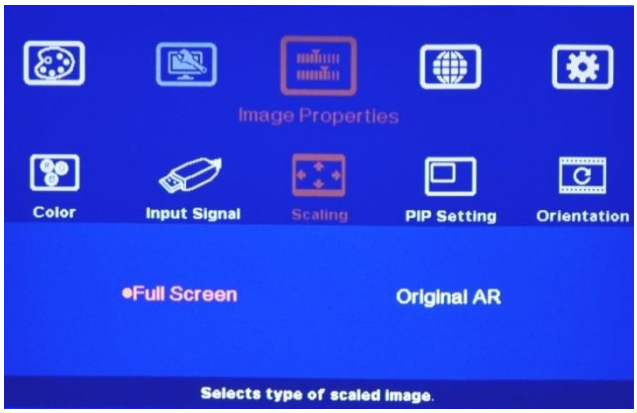


色温度の設定や RGB 個々のカラー設定が行えます。

7-2 [Input Signal] 入力切替

入力端子の選択が行えます。

7-3 [Scaling] スケーリング



[Full Screen]表示器の表示領域に対してフル画面表示

[Original AR]オリジナル映像ソースのアスペクト比を保ったまま表示

7－4 [PIP/POP setting]

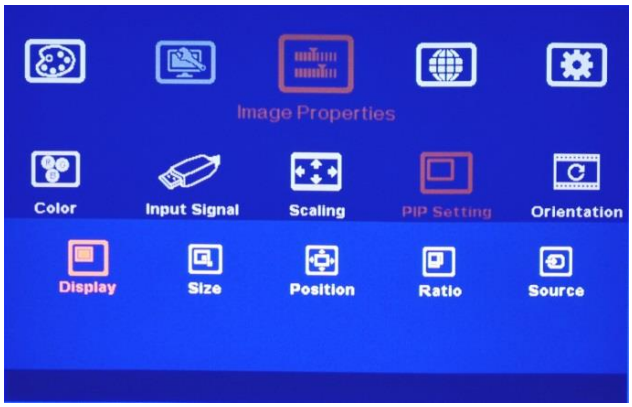
PIP（ピクチャーインピクチャー）の設定が行えます。

PIP とはメイン画面とは別にサブ画面を表示できる機能です。サブ画面となる PIP の最大解像度は 1024x768 です。全ての入力信号（DisplayPort、HDMI、DVI-I）を PIP 表示することができます。PIP の映像ソースは、メイン画面と同一または入替することもできます。

OSD メニューから PIP 画面の位置やサイズ設定が行えます。

POP（ピクチャーアウトピクチャー）とは、本機に入力した２つの信号を 1 画面に垂直方向に分割し左右対照に表示できる機能です。

※ PIP/POP の DIP スイッチ設定では、プリセットの画面の位置やサイズのみ反映することができます。



7－4－1 [Display]

7－4－1－1 Disable: PIP 機能が無効（初期設定値）

7－4－1－2 PIP: PIP 機能が有効

７－４－１－３ POP:POP 機能が有効

[Original AR] 設定時　　[Full Screen]設定時

以下の[Size]、[Position]、[Ratio]は、PIP 機能有効時のみ設定可能。

７－４－２ [Size]

画面サイズ設定。PIP 最大解像度は 1024x768。

1 ピクセル単位で画面サイズ設定が行えます。

７－４－３ [Position]

表示位置設定。サブ画面になる PIP 表示はメイン画面内で位置設定が行えます。

７－４－４ [Ratio]

ディスプレイ アスペクト比の設定

７－４－４－１ Full Screen: 表示器の表示領域に対してフル画面表示

７－４－４－２ Original AR: オリジナル映像ソースのアスペクト比を保ったまま表示

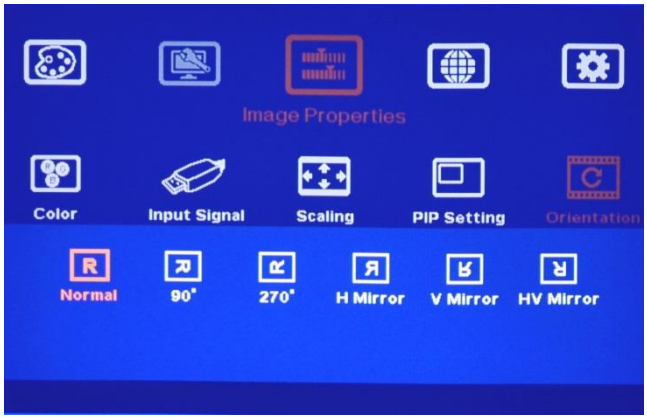
７－４－５ [Source]

入力ソース選択。PIP または POP 表示する入力ソースを選択ができます。

PIP または POP の入力ソースの表示や位置のパターンを記憶させ、そのパターンを[Option]→[Profile]から呼出しすることもできます。

７－５ [Orientation] 映像回転

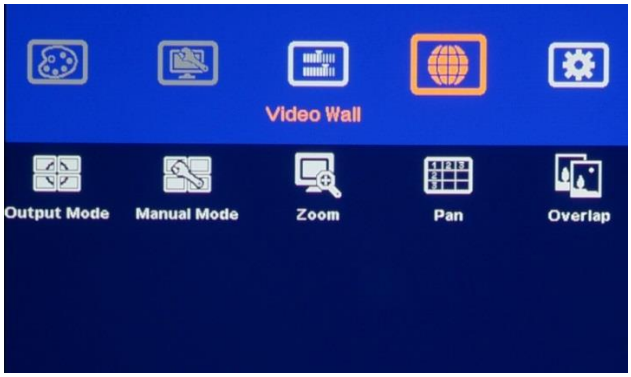
映像ソースの回転、反転の設定が行えます。



※ 左右縦回転表示する場合、プログレッシブ解像度（720p, 1080p）で出力してください。

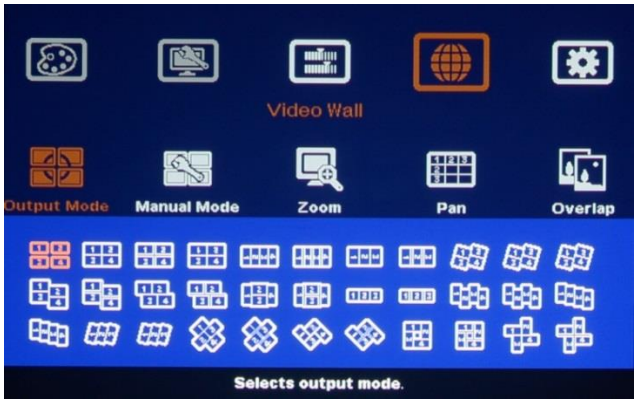
８[Video Wall] ビデオウォール設定

入力ソースを分割表示ができるビデオウォール機能です。
プリセットの表示レイアウトまたは任意の表示レイアウトを選択して、ディスプレイをまたがった表示が可能です。
また､ZoomやPan機能を用いて本機同士を多段接続した場合の表示エリア指定が行えます。



８－１ [Output Mode] アウトプットモード

33 種類のプリセット表示レイアウトから任意のレイアウトを選択可能です。



８－２ [Manual Mode] マニュアルモード

最大 5 種類の表示レイアウトを制作し保存することができます。
また、保存した表示レイアウトをループ再生することもできます。

８－２－１ [Index]

Index1～Index5 に、任意の表示レイアウトを保存します。
この時、表示レイアウトだけではなく入力信号や解像度の設定情報も同時に保存されます。

８－２－１－１ ［TV1～TV4］

各 TV に対するソースの表示位置を範囲指定します。

各 TV の左上、右上の位置を指定します。

８－２－１－２ [Ratio]

アスペクト比や４画面全体の位置調整が可能です。

[Horizontal Ratio] 水平アスペクト比

この機能でソースの水平方向にズームイン、アウトの設定可能です。

比率は 50～200%範囲で設定可能です。

水平アスペクト比 100%

水平アスペクト比 50%

水平アスペクト比 200%

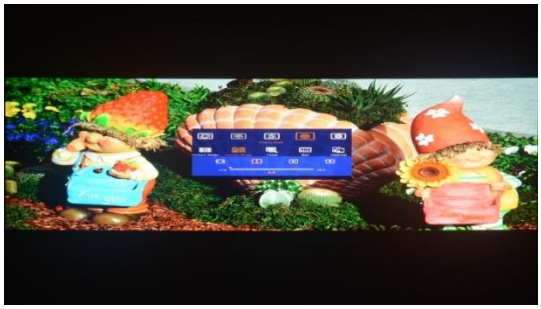
[Vertical Ratio] 垂直アスペクト比

この機能でソースの垂直方向にズームイン、アウトの設定が可能です。

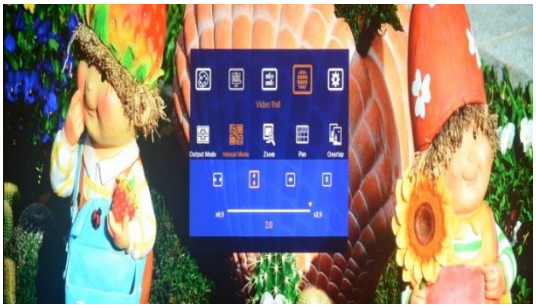
比率は 50～200%範囲で設定可能です。

垂直アスペクト比 100%

垂直アスペクト比 50%



垂直アスペクト比 200%



[Horizontal Shift] 水平ポジションの調整

この機能でソースの水平方向にポジション設定可能です。

水平アスペクト比 200%

左シフト(Max)

右シフト(Max)

水平アスペクト比 50%

左シフト(Max)

右シフト(Max)

[Vertical Shift] 垂直ポジションの調整

この機能でソースの垂直方向にポジション設定可能です。

垂直アスペクト比 200%　　上シフト(Max)　　下シフト(Max)

垂直アスペクト比 50%　　上シフト(Max)　　下シフト(Max)

８－２－１－３ [Reset]

8-2-1 の TV1～TV4 で設定した値をリセットします。

８－２－２ [Loop]

[Manual Mode]で Index1～Index5 に設定保存した表示レイアウトをループ再生することができます。

ループ再生は Index1→Index2→Index3→Index4→Index5→Index1 の順番に行われます。

8－2－2－1 ［Loop Range］

ループ再生の範囲を指定できます。

例えば「3」と設定した場合、Index1～Index3 の範囲でループ再生が行われます。

8－2－2－2 ［Loop Time］

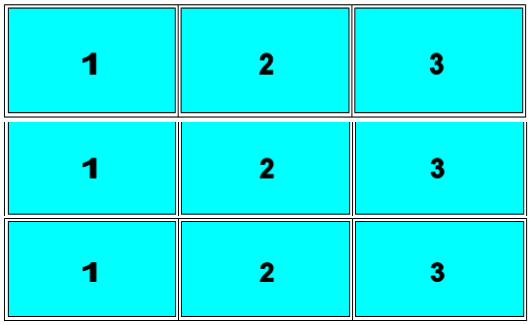
ループ再生のインターバルを 1 秒～600 秒の範囲で設定できます。

8－3 ［Zoom］ ズーム/カスケード接続

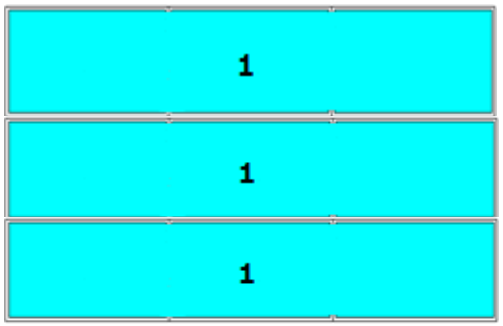
ズーム機能では、G-403 同士をカスケード接続する際の表示面数を設定します。

例：3x3 レイアウト（G-403 が 3 台必要）
各 G-403 のプリセット表示レイアウトを横 3 面（図 1 参照）に設定します。
カスケード接続時に図 1 のプリセット表示レイアウトを設定した場合、図 2 のように面数は 1 面として認識します。

[図 1]



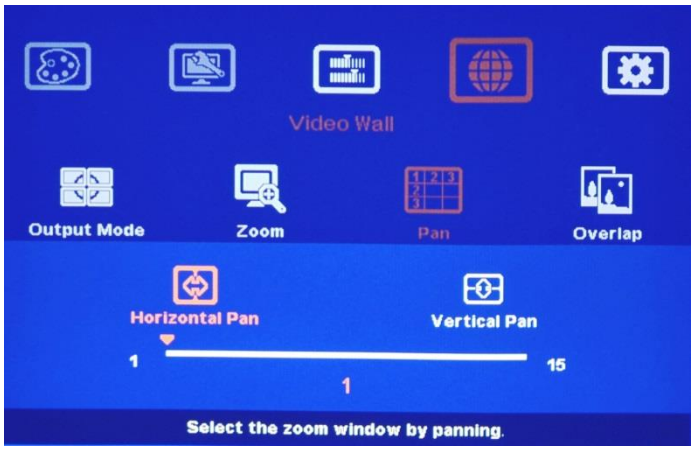
[図 2]



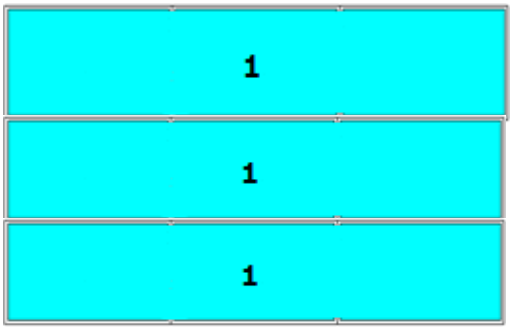
各 G-403 のズーム機能を次の通り設定します。
Horizontal zoom（横）＝1
Vertical　zoom（縦）＝3

８－４[Pan] 表示エリアの指定

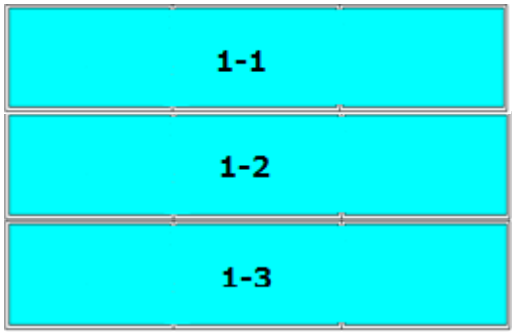
表示するエリアを指定します。



[図 2]



[図 3]



8-3[Zoom]で設定した全体の表示エリアに対しての切り出し表示部分を各 G-403 の[Pan]機能で次の通り指定します。

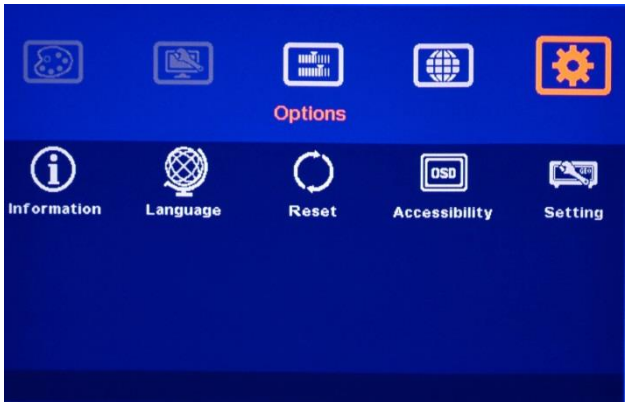
上段の表示器に接続した G-403：Horizontal pan（横）＝1、Vertical pan（縦）＝1
中段の表示器に接続した G-403：Horizontal pan（横）＝1、Vertical pan（縦）＝2
下段の表示器に接続した G-403：Horizontal pan（横）＝1、Vertical pan（縦）＝3

８－５[Overlap] オーバーラップ

本機同士をカスケード接続した際のベゼル補正をする場合に有効な機能です。
水平、垂直に対して±900 ピクセルの補正が行えます。

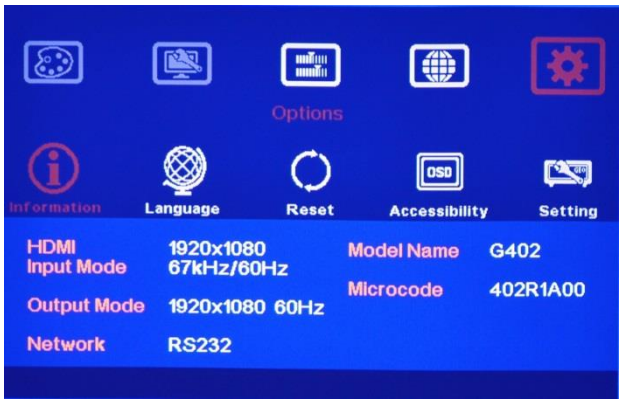
９［Options］オプション設定

各種設定が行えます。



９－１［Information］ステータス確認

出力解像度、入力解像度、モデル名とマイクロコードのバージョンを確認できます。



９－２［Language］言語選択

言語選択できます。初期設定は英語です。

９－３［Reset］リセット

９－３－１［Reset All］

本機をリセットします。(工場出荷時状態)

※但し、［Profile］で設定した情報は残ります。

９－３－２［Video Wall］

ビデオウォール設定値のみに対してリセットします。

９－４ ［Accessibility］ボタン反応速度、メニューアウト設定

９－４－１ ［Button Repeat Rate］

OSD ボタン応答の設定

［Off］数値の設定時、OSD 操作ボタンを押した時だけ応答します。

［Default］数値の設定時、OSD 操作ボタンを押し続けると徐々に応答速度が上がります。

［Slow］数値の設定時、OSD 操作ボタンを押し続けると［Default］よりゆっくりと応答速度が上がります。

９－４－２ ［Menu Time out］

OSD メニュー表示タイムアウト設定

OSD 操作が行われない時点から設定した時間が経過すると OSD メニューは消えます。（初期設定値は、30 秒）

［Off］設定時は、次の OSD 操作が行われるまで OSD メニューは表示され続けます。

９－４－３ ［Logo Time Out］

起動時の GeoBox ロゴ表示のタイムアウト設定

本機の起動時に GeoBox ロゴが設定した時間が経過するまで表示されます。

設定を OFF にすることでロゴを非表示にすることも可能です。

９－５ ［Setting］プロファイル保存・呼出、RS-232C 設定

９－５－１ ［Mute］

オーディオ ON/OFF 設定。

［Mute Off］はオーディオ出力が有効。.

［Mute On］はオーディオ出力が無効。

９－５－２ ［Frame Lock］

入力と出力のフレーム同期を保証します。

複数の GeoBox を多段接続した場合に効果的です。

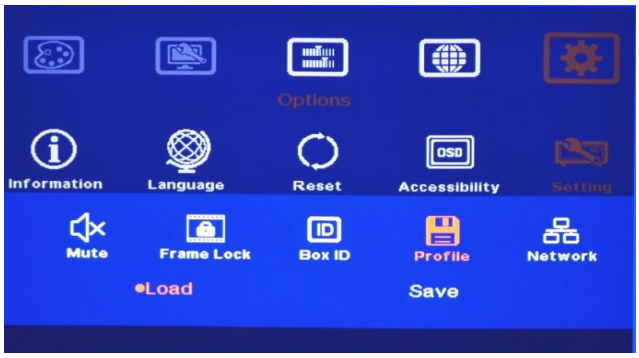
但し、入力タイミングや映像ソースの変更時、GeoBox に接続した表示機器が入力ソースの再認識を行うため、一時的に無表示になりフレーム同期をしません。

Frame lock を［Disable］に設定することで、入力タイミングや映像ソースの変更時でも GeoBox は出力し続け、一時的な無表示を回避します。

９－５－３ ［Box ID］

本機の ID の割当を 1～99 まで選択可能。

9-5-4 [Profile]



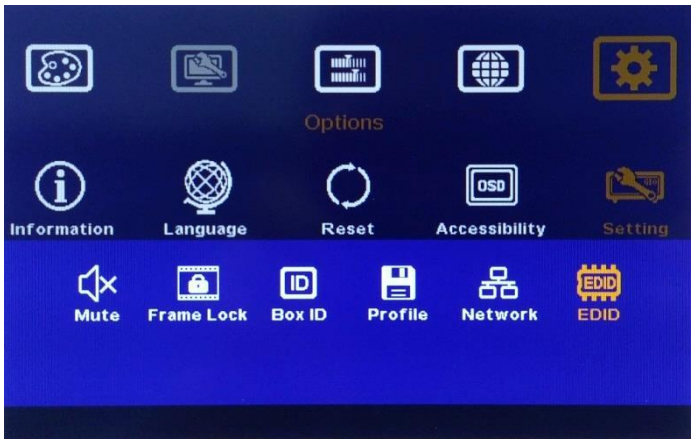
プロファイル設定を保存と呼出しができます。
入力信号や出力解像度の設定した最大 5 パターンを記憶し、それぞれのパターンを呼出すことができます。
パターンの呼出はリモコンまたは RS-232C 経由で実行します。(オプションでイーサネット経由も可)

9-5-5 [Network]

RS-232C やネットワーク経由で入力のスイッチング、プロファイル設定のパターンの保存や呼出、各種設定ができます。
RS-232C プロトコルについては、別途お問い合わせください。
※ネットワーク経由の対応モデルは、オプションです。

9-5-6 [EDID]

ソース機器から任意の解像度を正しく出力できるようにするための設定です。
ソース機器に認識させたい EDID (解像度、リフレッシュレート) を選択してください。



※ソース機器によっては、設定したEDIDが稀に反映されないことがあります。
その場合、ソース機器側の解像度設定で任意の解像度を選択してください。

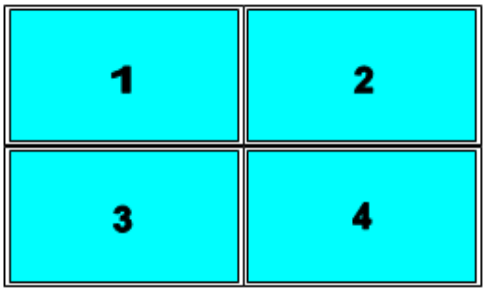
１０［ディスプレイモード]プリセット表示レイアウト

フロントパネルのDisplay modeとBezel correction DIPスイッチの設定でプリセット表示レイアウトを出力できます。
Display modeのDIPスイッチは、DIP1～DIP6まで有効です。(DIP7,8はカスタム用)
Bezel correctionのDIPスイッチは、DIP1のみ有効です。(DIP2～4はカスタム用)

１０-１［映像分配出力］

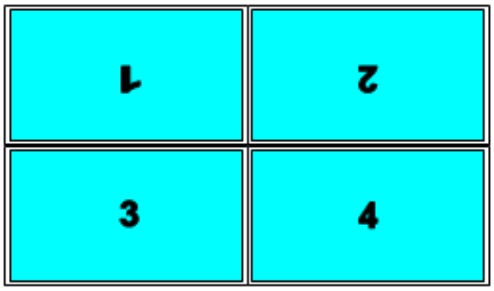
入力ソースを4台の表示機器に分配表示します。
Display modeのDIPスイッチを全てOFFの場合（初期設定値）

１０－２［2x2 表示レイアウト］



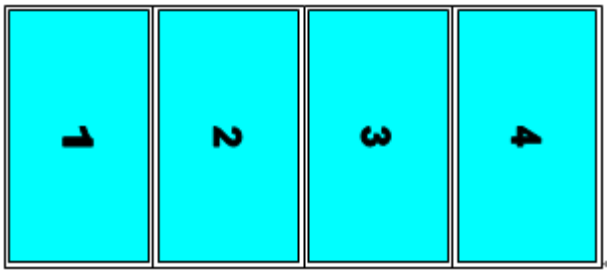
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
3.5mm	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON
4.9mm	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
1.5%	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON

１０－３［2x2 TV1&TV2 逆さま表示レイアウト］



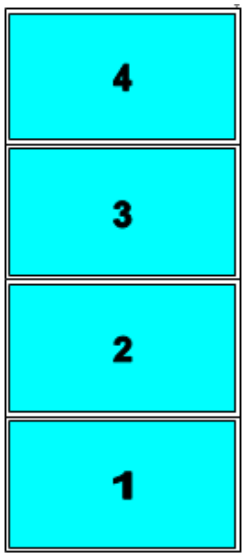
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
1.5%	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON

１０−４［4x1 表示レイアウト］



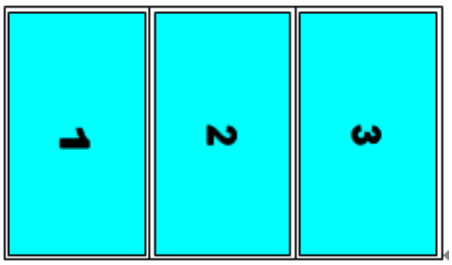
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
3.5mm	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON
4.9mm	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
1.5%	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON

１０−５［1x4 表示レイアウト］



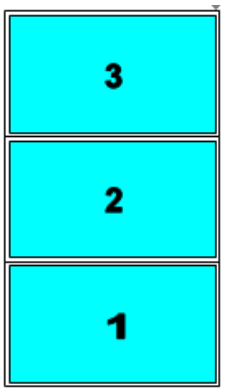
10-4[4x1 表示レイアウト]の状態で映像回転 90°を反映させると 1x4 表示レイアウトで出力できます。

１０－６［3x1 表示レイアウト］



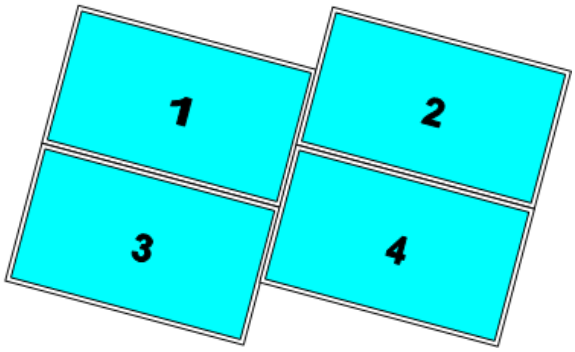
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
3.5mm	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
4.9mm	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
1.5%	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON

１０－７［1x3 表示レイアウト］



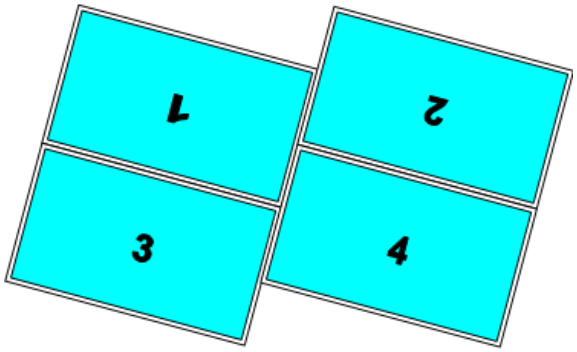
10-6［3x1 表示レイアウト］の状態で映像回転 90°を反映させると 1x3 表示レイアウトで出力できます。

１０－８［2x2 時計回りに 15°回転 表示レイアウト］



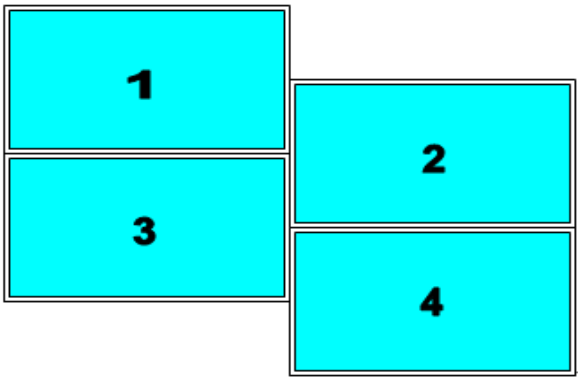
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
3.5mm	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON
4.9mm	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
1.5%	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON

１０－９［2x2 時計回りに 15°回転、TV1&TV2 逆さま表示レイアウト］



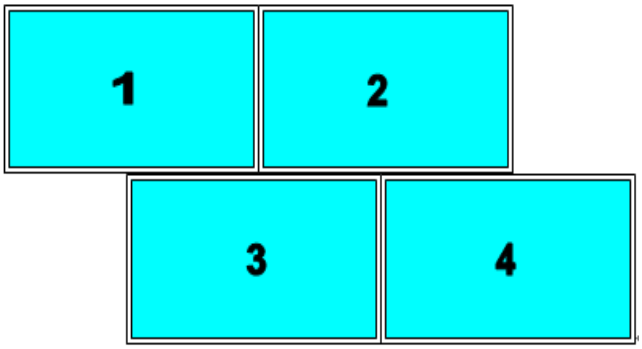
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
1.5%	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON

１０－１０［2x2 TV2&TV4 下移動 1/2 表示レイアウト］



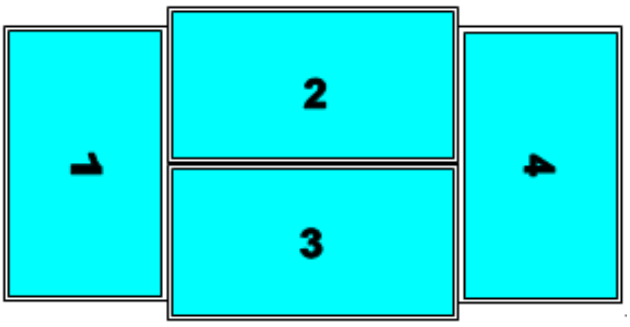
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
3.5mm	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON
4.9mm	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
1.5%	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON

１０－１１［2x2 TV3&TV4 右移動 1/2 表示レイアウト］



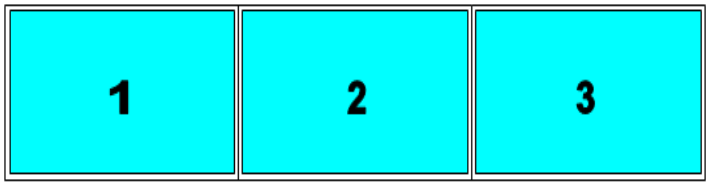
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
3.5mm	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON
4.9mm	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
1.5%	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON

１０-１２［2x2 縦 2&横 2 表示レイアウト］



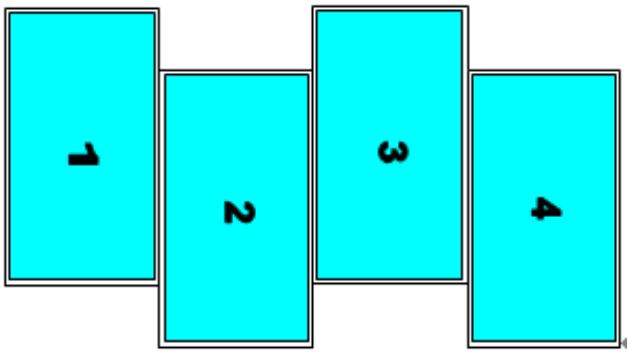
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
3.5mm	OFF	ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON
4.9mm	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
1.5%	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON

１０-１３［3x1 用 表示レイアウト］



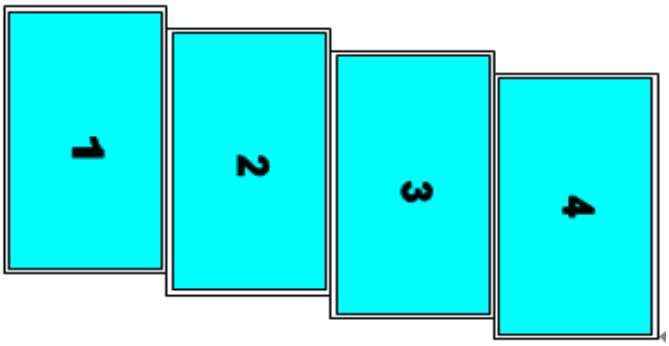
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
3.5mm	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
4.9mm	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF
1.5%	OFF	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON

１０－１４［TV2＆TV4 下移動 1/4 表示レイアウト］



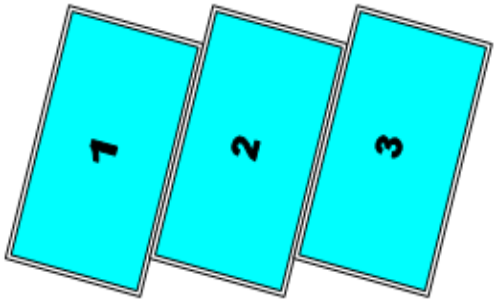
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF
3.5mm	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF	ON
4.9mm	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF
1.5%	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON

１０－１５［TV4 下移動 1/4 表示レイアウト］



ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF
3.5mm	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON
4.9mm	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
1.5%	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON

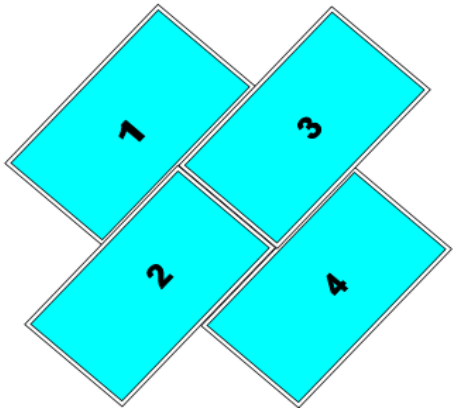
１０−１６［反時計回りに 75°回転 表示レイアウト］



（出力端子 4 からは、入力ソースがそのまま出力されます）

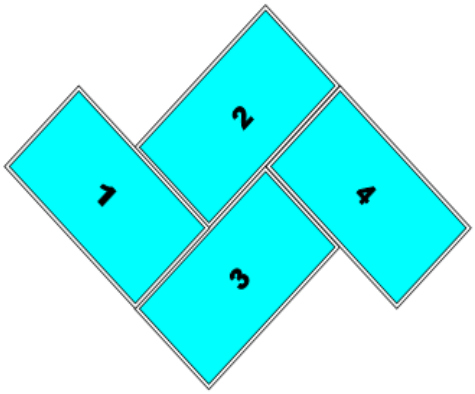
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
3.5mm	ON	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON
4.9mm	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
1.5%	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON

１０−１７［反時計回りに 48.37°回転 表示レイアウト］



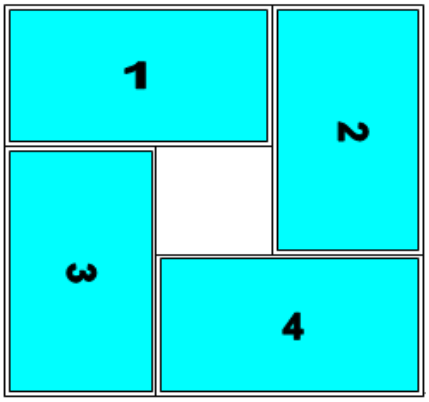
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
3.5mm	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON
4.9mm	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	OFF
1.5%	ON	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON

１０-１８［時計回りに 45°回転 表示レイアウト］



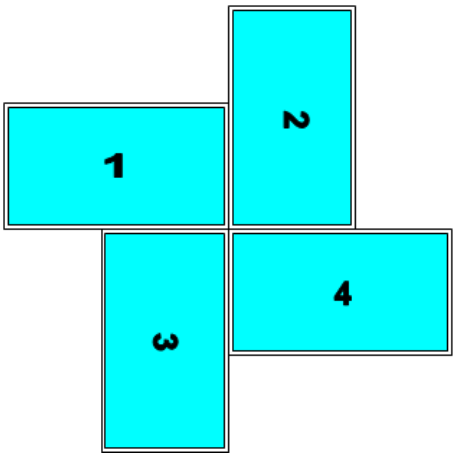
ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	OFF
3.5mm	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON
4.9mm	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	OFF
1.5%	ON	OFF	ON	OFF	OFF	ON	ON

１０-１９［ロの字型 表示レイアウト］



ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF
3.5mm	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	ON
4.9mm	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	OFF
1.5%	ON	OFF	OFF	ON	OFF	ON	ON

１０-２０［風車型 表示レイアウト］



ベゼル補正モード	Display Mode DIP スイッチ						Bezel correction DIP スイッチ
	1	2	3	4	5	6	1
補正なし	ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON	OFF
3.5mm	ON	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON
4.9mm	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF
1.5%	OFF	ON	ON	ON	OFF	OFF	ON

１１［DIP スイッチ設定］

フロントパネルの各 DIP スイッチを ON/OFF に位置設定後、本機起動（電源を OFF→ON にする）で各設定が反映されます。

初期設定は、Main Input＞HDMI の DIP スイッチ以外は、全て OFF 側です。

１１－１［Main input］メイン入力

本機起動時 DIP スイッチ ON に設定した入力信号を優先的に自動検出後、メイン表示します。

１１－２［PIP input］PIP 入力

本機起動時に DIP スイッチ ON に設定した入力信号を優先的に自動検出後、PIP（ピクチャーインピクチャー）表示します。

１１－３［Bezel Correction］ベゼル補正

DIP スイッチは、1 のみ有効です。(DIP2～4 はカスタム用)

ベゼル補正には、3 つのモードがあります。(3.5mm モード、4.9mm モード、1.5%モード)

※モード呼称の 3.5mm、4.9mm はベゼル補正幅ではありません。

１１－３－１ ベゼル補正幅の目安

各モード時のディスプレイサイズ毎のベゼル補正幅の目安です。

設定モード	“Active to Active” ベゼル補正幅（H&V）単位 mm							
	32” LCD	40” LCD	42” LCD	47” LCD	50” LCD	55” LCD	60” LCD	65” LCD
3.5mm	2.35	2.86	2.99	3.31	3.50	3.81	4.14	4.46
4.9mm	3.64	4.47	4.68	5.20	5.51	6.03	6.56	7.08
1.50%	10.68	13.28	13.93	15.55	16.52	18.14	19.77	21.39

１１－３－２ ベゼル補正幅の算出

ベゼル補正幅を算出には、接続するディスプレイの有効表示領域（mm）H × V の値が必要です。

ベゼル補正幅＝有効表示領域（mm）× 補正値(%)＋0.3mm（ギャップ値）

※ギャップ値は、全てのモードで 0.3mm 加算されます。

モード	H(横)補正値	V（縦）補正値
3.5mm	0.289280%	0.514177%
4.9mm	0.471163%	0.837464%
1.50%	1.496090%	2.552533%

例：4.9mm モード、ディスプレイの有効表示領域が 1209.6mm(H)、680.4mm(V)の場合

ベゼル補正幅 H ＝1209.6mm × 0.471163%＋0.3mm＝5.99918765≒6.0mm

ベゼル補正幅 V ＝ 680.4mm × 0.837464%＋0.3mm＝5.9981 ≒6.0mm

１１-４ [PIP Setting] PIP/POP 設定

１１-４-１ [PIP]

DIP スイッチを ON 側に設定にすると、PIP 機能が有効。

１１-４-２ [POP(Raw)]

DIP スイッチを ON 側に設定にすると、POP 機能が有効。

オリジナル映像ソースのアスペクト比を保ったまま表示

１１-４-３ [POP(Full)]

DIP スイッチを ON 側に設定にすると、POP 機能が有効。

フル画面表示

１１-４-４ [Location]

PIP の位置設定が有効になります。(但し、PIP 機能が有効時のみ)

PIP 表示位置	DIP4	DIP5	DIP6
左上	ON	OFF	OFF
右上	ON	ON	OFF
左下	OFF	OFF	ON
右下	OFF	ON	OFF
中央上	ON	OFF	ON
中央	OFF	OFF	OFF
中央下	OFF	ON	ON

１１-４-５ [Size]

PIP のサイズ設定が有効になります。(但し、PIP 機能が有効時のみ)

PIP の最大解像度 1024x768 をサイズ 100%になります。

PIP サイズ	DIP7	DIP8
25%	OFF	OFF
50%	OFF	ON
75%	ON	OFF
100%	ON	ON

OSD メニューで設定した場合、より細かくサイズ設定できます。

１１-５ [Display Mode]

DIP スイッチは、1～6 が有効です。(DIP7～8 は、カスタム用)

設定の詳細は、項目 10 をご参照ください。

１２［RS-232C 制御］

本機の RS-232C プロトコルは、ASCⅡコマンドを採用しています。

１２-１ ホストとの接続について

本機とホストは、ストレート結線の RS-232C ケーブルで接続します。

ポートは、以下の通り設定してください。

通信速度	115200bps
パリティチェック	None
データビット	8
ストップビット	1
フロー制御	None

Tera Term を使用する場合、改行コードの受信を「AUTO」、送信を「CR+LF」にして「ローカルエコー」にチェックを入れてください。

１２-２ コマンド配列について

１２-２-１［コード］

コマンド配列は、以下 6 種類のコードを組み合わせになります。

コマンド＝<ヘッダー><デバイス ID><ファンクション><引き数><バリュー><エンド>

コード	コマンド	備考
ヘッダーコード	S	アクションを実行する start の”S”を示します
デバイス ID コード	00～99	本機に登録した ID。 初期設定値は「00」
ファンクションコード	3 文字の英数字	
引き数（アーギュメント）コード	‘+’ & ‘-‘	
バリューコード	000～999	
エンドコード	<CR><LF>	

１２-２-２［コマンド入力例］

例1：ID00の本機に対して、水平キーストーン補正 10° を実行する場合
ASCII: S00HKT+010<CR><LF>
HEX: 53 30 30 48 4B 54 2B 30 31 30 0D 0A

例2：ID00の本機に対して、HDMI入力信号に選択切替えた場合
ASCII: S00INP+001<CR><LF>
HEX: 53 30 30 4A 4E 50 2B 30 30 31 0D 0A

例3：ID01の本機に対して、[Profile]の[Index1]に保存したパターンを呼出す場合
ASCII: S01PFL+000<CR><LF>

HEX:　53 30 31 50 46 4C 2B 30 30 31 0D 0A

１２-３　コマンド一覧

機能概要	ファンクションコード	バリューコード	初期値	備考
バーチャル IR キー	VKY			
0		000		
1		001		
2		002		
3		003		
4		004		
5		005		
6		006		
7		007		
8		008		
9		009		
POWER		010		
MUTE		011		
HDMI		012		
VGA		013		
DVI		014		
YPBPR		016		
DP		017		
INFO		020		
RETURN		021		
MENU		022		
EXIT		023		
LEFT		024		
RIGHT		025		
UP		026		
DOWN		027		
ENTER		028		
OSD TIME OUT		043		
VIDEO WALL		044		
PROFILE		046		

機能概要	ファンクションコード	バリューコード	初期値	備考
本機電源 ON/OFF	PWR			RANGE: 0-1
電源 OFF		000		
電源 ON		001		
カラープロパティ調整				RANGE 0-100
明るさ	BRI	000-100	50	
コントラスト	CON	000-100	50	
色調	HUE	000-100	50	
彩度	XAT	000-100	50	
シャープネス	XHA	000-100	0	Video Color Space Only
VGA オートアジャスト	AUT			
入力ソース切替	INP		2	RANGE: 0-4
DVI		000		
HDMI		001		
VGA		002		
DisplayPort		003		
ビデオウォール設定				RANGE: 0-9
横ズーム	HZM	000-009	0	
縦ズーム	VZM	000-009	0	
横表示エリア	HPN	000-009	0	
縦表示エリア	VPN	000-009	0	
オーバーラップ				RANGE: +/-600
左エッジ	OLE	+/-600	0	
右エッジ	ORE	+/-600	0	
上エッジ	OTE	+/-600	0	
下エッジ	OBE	+/-600	0	
言語選択	LNG		0	RANGE: 0-2
英語		000		
中国語（簡体字）		001		
中国語（繁体字）		002		
リセット	RXT	RANGE: 1-3		RANGE: 1-3
本機のリセット		001		[Profile]のデータは残ります

機能概要	ファンクションコード	バリューコード	初期値	備考
ビデオウォールリセット		002		
[Anyplace]リセット		003		
ボタン反応速度	BRR		1	RANGE: 0-2
押した時だけ応答		000		
押し続けると徐々に応答速度があがる		001		
押し続けると 001 よりもゆっくり応答速度があがる		002		
OSD メニューアウト設定	MTO	RANGE: 0-60	30	RANGE: 0-60
タイムアウトオフ		000		
60 秒後		060		
オーディオ設定	MUT		0	RANGE: 0-1
ミュート OFF		000		
ミュート ON		001		
プロファイル保存	PFX			RANGE: 0-4
Index 1		000		
Index 2		001		
Index 3		002		
Index 4		003		
Index 5		004		
プロファイル呼び出し	PFL			RANGE: 0-4
Index 1		000		
Index 2		001		
Index 3		002		
Index 4		003		
Index 5		004		
ロゴタイムアウト	LTO	000-060	10	RANGE: 0-60
PIP オン/オフ、POP	PIO		0	RANGE: 0-2
PIP OFF		000		
PIP ON		001		
POP ON		002		

機能概要	ファンクションコード	バリューコード	初期値	備考
PIP サイズ	PIZ	000-100	0	RANGE: 0-100
PIP 横ポジション	PIH	000-100	0	RANGE: 0-100
PIP 縦ポジション	PIV	000-100	0	RANGE: 0-100
PIP アスペクト比	PIR		0	RANGE: 0-1
フル		000		
ソースアスペクト比		001		
PIP Input Source	PIT			RANGE: 0-3
DVI		000		
HDMI		001		
VGA		002		
DisplayPort		003		
映像回転/反転	ORI		0	RANGE: 0-5
ノーマル		000		
90° 回転		001		
270° 回転		002		
水平反転		003		
垂直反転		004		
水平・垂直反転		005		
ビデオウォール出力モード	OPM		0	RANGE: 0-254
デフォルトモード		001-032		
マニュアルモード Index1		250		
マニュアルモード Index2		251		
マニュアルモード Index3		252		
マニュアルモード Index4		253		
マニュアルモード Index5		254		
マニュアルモード				
ループ再生範囲指定	MLR	000-005		RANGE: 0-5
ループ再生タイムアウト時間	MLT	000-600		値は秒単位
Index1 TV1 TL 横ポジション	XAA	0000-1920		
Index1 TV1 TL 縦ポジション	YAA	0000-1080		
Index1 TV1 TR 横ポジション	UAA	0000-1920		
Index1 TV1 TR 縦ポジション	VAA	0000-1080		

機能概要	ファンクションコード	バリューコード	初期値	備考
Index1 TV2 TL 横ポジション	XAB	0000-1920		
Index1 TV2 TL 縦ポジション	YAB	0000-1080		
Index1 TV2 TR 横ポジション	UAB	0000-1920		
Index1 TV2 TR 縦ポジション	VAB	0000-1080		
Index1 TV3 TL 横ポジション	XAC	0000-1920		
Index1 TV3 TL 縦ポジション	YAC	0000-1080		
Index1 TV3 TR 横ポジション	UAC	0000-1920		
Index1 TV3 TR 縦ポジション	VAC	0000-1080		
Index1 TV4 TL 横ポジション	XAD	0000-1920		
Index1 TV4 TL 縦ポジション	YAD	0000-1080		
Index1 TV4 TR 横ポジション	UAD	0000-1920		
Index1 TV4 TR 縦ポジション	VAD	0000-1080		
Index2 TV1 TL 横ポジション	XBA	0000-1920		
Index2 TV1 TL 縦ポジション	YBA	0000-1080		
Index2 TV1 TR 横ポジション	UBA	0000-1920		
Index2 TV1 TR 縦ポジション	VBA	0000-1080		
Index2 TV2 TL 横ポジション	XBB	0000-1920		
Index2 TV2 TL 縦ポジション	YBB	0000-1080		
Index2 TV2 TR 横ポジション	UBB	0000-1920		
Index2 TV2 TR 縦ポジション	VBB	0000-1080		
Index2 TV3 TL 横ポジション	XBC	0000-1920		
Index2 TV3 TL 縦ポジション	YBC	0000-1080		
Index2 TV3 TR 横ポジション	UBC	0000-1920		
Index2 TV3 TR 縦ポジション	VBC	0000-1080		
Index2 TV4 TL 横ポジション	XBD	0000-1920		
Index2 TV4 TL 縦ポジション	YBD	0000-1080		
Index2 TV4 TR 横ポジション	UBD	0000-1920		
Index2 TV4 TR 縦ポジション	VBD	0000-1080		
Index3 TV1 TL 横ポジション	XCA	0000-1920		
Index3 TV1 TL 縦ポジション	YCA	0000-1080		
Index3 TV1 TR 横ポジション	UCA	0000-1920		
Index3 TV1 TR 縦ポジション	VCA	0000-1080		

機能概要	ファンクションコード	バリューコード	初期値	備考
Index3 TV2 TL 横ポジション	XCB	0000-1920		
Index3 TV2 TL 縦ポジション	YCB	0000-1080		
Index3 TV2 TR 横ポジション	UCB	0000-1920		
Index3 TV2 TR 縦ポジション	VCB	0000-1080		
Index3 TV3 TL 横ポジション	XCC	0000-1920		
Index3 TV3 TL 縦ポジション	YCC	0000-1080		
Index3 TV3 TR 横ポジション	UCC	0000-1920		
Index3 TV3 TR 縦ポジション	VCC	0000-1080		
Index3 TV4 TL 横ポジション	XCD	0000-1920		
Index3 TV4 TL 縦ポジション	YCD	0000-1080		
Index3 TV4 TR 横ポジション	UCD	0000-1920		
Index3 TV4 TR 縦ポジション	VCD	0000-1080		
Index4 TV1 TL 横ポジション	XDA	0000-1920		
Index4 TV1 TL 縦ポジション	YDA	0000-1080		
Index4 TV1 TR 横ポジション	UDA	0000-1920		
Index4 TV1 TR 縦ポジション	VDA	0000-1080		
Index4 TV2 TL 横ポジション	XDB	0000-1920		
Index4 TV2 TL 縦ポジション	YDB	0000-1080		
Index4 TV2 TR 横ポジション	UDB	0000-1920		
Index4 TV2 TR 縦ポジション	VDB	0000-1080		
Index4 TV3 TL 横ポジション	XDC	0000-1920		
Index4 TV3 TL 縦ポジション	YDC	0000-1080		
Index4 TV3 TR 横ポジション	UDC	0000-1920		
Index4 TV3 TR 縦ポジション	VDC	0000-1080		
Index4 TV4 TL 横ポジション	XDD	0000-1920		
Index4 TV4 TL 縦ポジション	YDD	0000-1080		
Index4 TV4 TR 横ポジション	UDD	0000-1920		
Index4 TV4 TR 縦ポジション	VDD	0000-1080		
Index5 TV1 TL 横ポジション	XEA	0000-1920		
Index5 TV1 TL 縦ポジション	YEA	0000-1080		
Index5 TV1 TR 横ポジション	UEA	0000-1920		
Index5 TV1 TR 縦ポジション	VEA	0000-1080		

機能概要	ファンクションコード	バリューコード	初期値	備考
Index5 TV2 TL 横ポジション	XEB	0000-1920		
Index5 TV2 TL 縦ポジション	YEB	0000-1080		
Index5 TV2 TR 横ポジション	UEB	0000-1920		
Index5 TV2 TR 縦ポジション	VEB	0000-1080		
Index5 TV3 TL 横ポジション	XEC	0000-1920		
Index5 TV3 TL 縦ポジション	YEC	0000-1080		
Index5 TV3 TR 横ポジション	UEC	0000-1920		
Index5 TV3 TR 縦ポジション	VEC	0000-1080		
Index5 TV4 TL 横ポジション	XED	0000-1920		
Index5 TV4 TL 縦ポジション	YED	0000-1080		
Index5 TV4 TR 横ポジション	UED	0000-1920		
Index5 TV4 TR 縦ポジション	VED	0000-1080		
バッファーモード	MMB	000-001	0	

１３[仕様]

入力端子		HDMI タイプ A メス x 1、DisplayPort メス x 1、 DVI-I メス x 1、電源ジャック x 1
出力端子		HDMI タイプ A メス x 4 HDMI タイプ A メス x 1（ループアウト）
制御端子		D-sub9 ピンメス×1(RS-232C) 3.5mm IR ジャック×1
HDCP コンテンツ		再生可(HDCP1.4 のみ)
動作環境温度/ 保管環境温度		0～45℃/-20～60℃
動作環境湿度/ 保管環境湿度		0～85%（結露なきこと）
最大解像度	入力	3840x2160 @30Hz, 3840x1080 @60Hz, 1080p @120Hz
	出力	1920 x 1080p
電源/最大消費電力		DC12V、3A / 10.7W
外形寸法		幅 350mm ×高さ 40mm × 奥行き 160mm（突起物含まず）
対応ラックマウントキット		G404403L0010
重量		1.5kg